

【HRGL Way とは】

HRGL Way は、HRガバナンス・リーダーズが経営活動を遂行するにあたっての最も基本的な姿勢であり、全ての活動の指針とするものです。

存在意義(パーパス)を起点としたHRGL Wayは、**従業員(社中の仲間)全員の精神的支柱として、社会・クライアントとの共創活動の基本方針**とします。また、**経営戦略や経営計画の策定など、経営の意思決定のよりどころ**とします。

【HRGL Way の構成要素】

- パーパス(存在意義)
企業の成長ストーリーを描くコーポレートガバナンスの“かかりつけ医”
- ビジョン(方向性)
「ヒト」が輝く社会の“未来設計図”を創造する
- ミッション(社会への価値提供)
企業の「サステナビリティガバナンス」のエコシステムを構築する
- バリュー(共有する価値観・役割)
強靱な取締役会を実現するための“コーポレートセクレタリー機能”を担う

ビジョン 方向性

- ▶ 「ヒト」が輝く社会の“未来設計図”を創造する
- ▶ 地球・社会・企業の持続的成長を通じて、「ヒト」が輝く社会の“未来設計図”を描く
- ▶ 「ヒト」が輝ける未来とは、人類が幸せに暮せる世界として、持続可能な社会である

ミッション 社会への 価値提供

- ▶ 企業の「サステナビリティガバナンス」のエコシステムを構築する
- ▶ グローバル大企業のサステナビリティ経営によって、日本は成長し、持続可能な社会は実現される(未来社会からの信認を得る)
- ▶ 社会課題の解決と経済の発展を両立する循環型社会の実現に向けて「サステナビリティガバナンス」のエコシステムを構築する

バリュー 共有する 価値観・役割

- ▶ 強靱な取締役会を実現するための“コーポレートセクレタリー機能”を担う
- ▶ ヒト・組織・カルチャーを起点としたHRガバナンス改革を通じて、クライアント企業の“コーポレートセクレタリー機能”を担う
- ▶ サステナビリティ視点でマネジメントとガバナンスを有機的に機能させることで、強靱な取締役会を実現する

パーパス 存在意義

- ▶ 企業の成長ストーリーを描くコーポレートガバナンスの“かかりつけ医”
- ▶ クライアント企業の成長ストーリーを描く、コーポレートガバナンスの“かかりつけ医”(注)として、“深く・濃く・長い”信頼関係を構築する
- ▶ コーチ・アドバイザー・コンサルといった特定の役割を超えて、企業をサステナブルな成長に導く“リーダーズ”としての存在

- ▶ HRGLは“かかりつけ医(黒子)”として、クライアント企業の地球視点でのガバナンス改革を支援することをミッションとしていることを踏まえ、自らのパーパスは最後に記載しています。

HRGL Wayの実現、すなわちクライアント企業をはじめとした多様なステークホルダーとの共創活動を通じて、社会全体にインパクトを与え、社会課題の解決と経済の発展を両立する循環型社会の実現に貢献する、という私たちの想いを短い文章に凝縮し、コーポレート・ステートメントとして表現しています。

新しい未来へのストーリーを。

ひとりを輝かせることが、企業を、社会を、そして世界を輝かせることにつながる。

そう信じている、だから、
志ある企業が、未来にわたって輝き続けるための持続可能な企業経営の、力となること。
それが、私たち HRガバナンス・リーダーズの使命です。

ひとりひとりを、それぞれの組織を、強くし、有機的につなぐ、サステナビリティガバナンスで。
企業の新しい未来への、ストーリーを創る。
ビジョンを強く実行し続ける在りかたへと、変えていく。

日本を動かし、世界を変えていく人たちの、力へ。
未来を生み出す力の、力へ。
アイデアと、経験と、知識と、情熱を、その思いへと、全力で注ぎ込みながら。
ずっとずっと続く道とともに創り、歩み続けます。

一緒に地球を輝かせていく、
そう、仲間となって。



HRGL Wayの実現には、誠実な実践および建設的なエンゲージメントに基づく、多様なステークホルダーとの信頼関係の構築が必要不可欠です。サステナブルな資本主義を未来に承継するために、HRガバナンス・リーダーズとして果たすべき、ステークホルダーとの約束を宣言します。

【社員(社中の仲間)との約束】

HRGLらしいヒトと組織を開発しカルチャーを創造するために、たゆまぬ研鑽を重ねることで、仲間一人ひとりが、「パール」のように輝く社中をともに築き上げる(「人財開発宣言」)。

【クライアントとの約束】

人として信頼でき、身近で頼りになる相談相手として“深く・濃く・長い”信頼関係を構築し、コーポレートガバナンスの“かかりつけ医”のような存在になる(「クライアントファースト宣言」)。

【パートナーとの約束】

社会的インパクトを与えるオピニオンリーダーとして、「サステナビリティガバナンス」のエコシステム構築に向けた議論の質を高め、取組みを加速させていく(「オピニオンリーダー宣言」)。

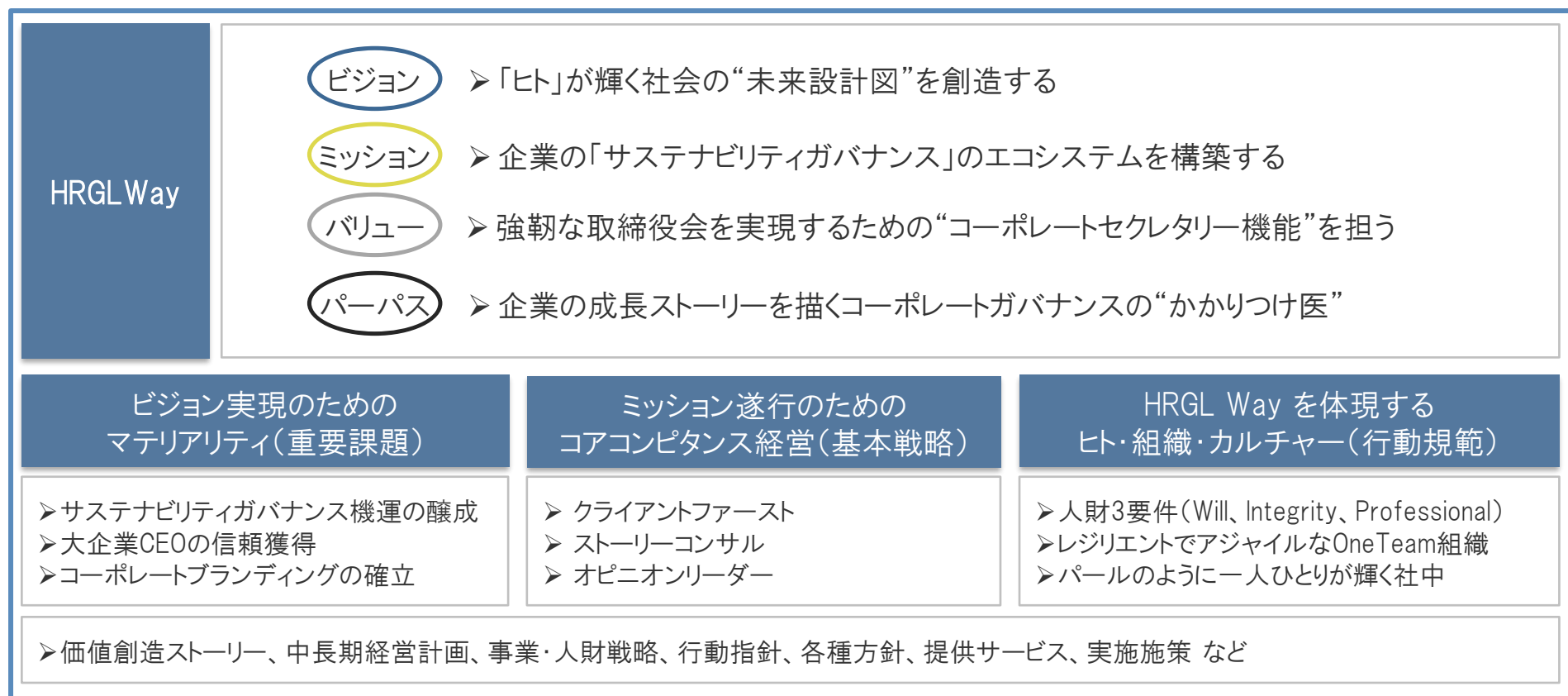
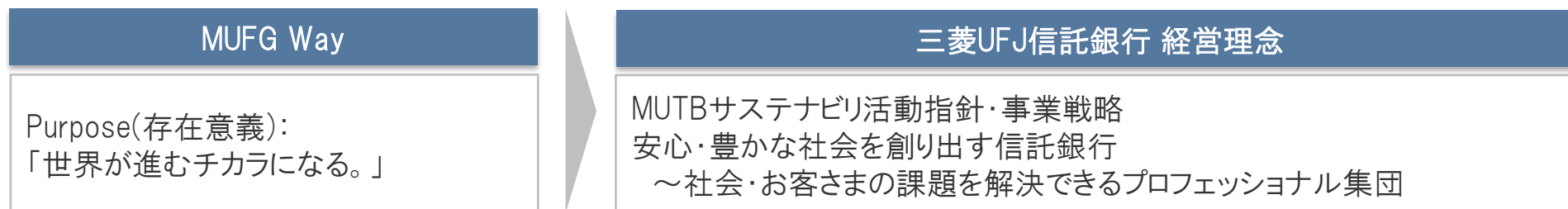
【社会との約束】

地球規模のニーズに突き動かされて(Earth Driven)生まれたHRGLは、社会のひとつの仲間(COMPANY)としてサステナブルな地球・社会を共創していく(「アースドリブン宣言」)。

【株主との約束】

HRGL Wayの実現を通じて、サステナビリティガバナンスに関する識見を磨き上げ、あらゆる変化に柔軟かつ俊敏に対応するOne Team組織を築き、MUFGのサステナビリティブランド向上に寄与する(「サステナビリティブランド宣言」)。

- HRGL Wayの実現に際しては、まず自分たち自身との約束を果たしたうえで、各ステークホルダーとの約束を果たし、最終的に社会全体にインパクトを与える(価値を創造する)との姿勢を示すべく、最初に社員(社中の仲間)との約束を記載しています。



ビジョン実現のためのマテリアリティ (重要課題)	サステナビリティガバナンス機運の醸成	<ul style="list-style-type: none"> 大企業CEOに対してサステナビリティ経営を啓発し、サステナビリティ経営を実現するための取締役会改革を実現すること 行政・学界・有識者・機関投資家等からも信頼される存在を目指すこと (HRGL Wayの共感者を増やすこと)
	大企業CEOの信頼獲得	<ul style="list-style-type: none"> 「ストーリーコンサル」「クライアントファースト」を追究し、世界の環境・社会に最も影響力のある、大企業CEOから最も信頼される存在となること
	コーポレートブランディングの確立	<ul style="list-style-type: none"> 一人ひとりが「かかりつけ医」「オピニオンリーダー」として、アドバイザー参画・オピニオン発信し、「HRGL品質」をつくりあげること 課題解決型のコンサルを超えた、アースドリブン・カンパニーとして社会変革の「リーダーズ」としての地位を確立すること
ミッション遂行のためのコアコンピタンス経営 (基本戦略)	ストーリーコンサル	<ul style="list-style-type: none"> 大企業CEOの目指すサステナブルな成長を描くための“深く・濃く・長い”コンサルティングを実施する (HRガバナンス領域としてサステナビリティ、戦略・リスク・監査、指名・人財、指名・報酬を統合的に支援)
	クライアントファースト	<ul style="list-style-type: none"> 社会起点でのかかりつけ医・リーダーズとして、大企業CEOの成長ストーリーを実現する
	オピニオンリーダー	<ul style="list-style-type: none"> サステナビリティガバナンスのエコシステムを構築 (PRI・ICGN・行政・経団連・学界等とのコラボ)し、有識者としての地位確立を目指す

HRGL Way 体現の基盤となるヒト・組織・カルチャー

ヒト	人財3要件 (Will、Integrity、 Professional)	<ul style="list-style-type: none">社会・クライアントへのリーダーシップの発揮 ⇒次ページ以降参照
組織	レジリエントで アジャイルな One Team組織	<ul style="list-style-type: none">信頼と尊重に基づき、多様性を活かしたひとつの組織<ul style="list-style-type: none">①不確実性をチャンスと捉えてチャレンジする強靱さ②激しい変化に柔軟かつ俊敏に対応③組織はフラットで、トップダウンではなく、各人の役割・権限重視
カルチャー	パールのように 一人ひとりが輝く社中	<ul style="list-style-type: none">個性を生かし、生き生きと輝きながら、社会・クライアントのために、自己成長を感じながら働くカルチャーの醸成<ul style="list-style-type: none">①夢の共有(HRGL Wayの共感)②楽しいJob(社会への貢献)③well-beingな環境(心身の健康と幸福感)

一人ひとりが異なる背景・価値観をもつ中、HRGL Wayを体現するためには、「HRGLとして求められる人財像」を一人ひとりが認識し、統一的な行動規範が必要となる。

求められる人財像 (資質・能力)

Will		Integrity		Professional	
クライアントを通じた日本の社会構造改革に向けた、主体的・自律的・能動的な行動		自身の目標達成だけでなく、PJチーム・組織内の仲間のための貢献意識の人間力		プロフェッショナルとして自分の長所・得意領域を拡充するとともに、あるべき姿を追求すべく、不断の自己研鑽に励む	
正義 Justice	社会貢献 Society	チームワーク Teamwork	ダイバシティ Diversity	リーダーシップ Leadership	グリット Grit
自律的で正しい思考・行動	利他の心で社会課題を解決	強靱な組織力の最大化	多様性(属性・特性)の融合	クライアント・仲間を導く力	粘り強くやり抜く心(挑戦・継続)

求められるリーダーシップ (行動規範)

社会・クライアントへのインパクト	社会・クライアント起点でのコラボレーション	自己・他者育成 (ヒト・組織・カルチャー改革)
Earth Driven COMPANYを担う一員として、地球・社会視点でHRGL Wayを発信するとともに、社会とクライアント価値の最大化に向けた変革への影響力を発揮する	HRGL Wayの理解から共感、そして熱狂する同志の輪を広げるために、ステークホルダーとのエンゲージメントを習慣とし、社内外にも広がる強いチームを創り上げる(One Team)	<ul style="list-style-type: none"> クライアントに高い価値を提供できるよう自身の能力・スキルの向上のため不断の自己研鑽に励む HRGLが組織全体として成長するための積極的な他者育成を行う

HRGLの プロフェッショナル像

- 「ヒト」が輝く未来の社会を創るため、クライアント・仲間を導き(Leadership)、粘り強くやり抜いていく(Grit)
- 同志を広げ、クライアント・社会を巻き込んだOne Teamで目的を達成する
- 最高のパフォーマンスを発揮し、世に感動をもたらし、パールに輝き続ける

プロフェッショナル とは何か

- ビジヨナリー・リーダーシップを発揮し、高めていく「ヒト」である
- すなわち、私たちのビジョンを未来の社会へ訴求することができる「リーダー」である

他との違い・差別化

- 地球視点でクライアント・社会の価値を最大化するという内発的動機
- 社中の全員が強力なオーナーシップを持つファウンダー
- 未来志向でサステナブルなストーリーコンサルティング

どうすればよいか？

- 一人ひとりが、業務内外での自己研鑽による卓越した知見と進取の気性を持つ
- クライアントに寄り添った「深く・濃く・長い」支援により信頼を獲得する
- 社内外との共創により、クライアント・社会の変革に貢献する

【メインロゴマーク】



- 全体のカラー/フォルム
 - 宇宙を想像させる深みのあるブルー
 - **青い空と海、光り輝く地球**
 - ブルーオーシャンな世界
- 線対称構造
 - 信頼・尊重・安定感、**ひとつになる**
- 上下の大きなマス
 - **無限に広がっていく**、光輝く新しい未来[上部白]
 - 足元から未来につながる、ともに創る道(ストーリー)[下部青]
- 輪になって中心で手を重ね合わせているイメージ
 - 上下の大きなマス・ともに未来を輝かせていく、クライアントや仲間との繋がり、**強固なパートナーシップ**
- ギア・歯車のイメージ
 - 陰で確実に動かしていく確かな**実現力・駆動力**
- 左右の4つのマス
 - 未来を実現するための担う4領域(**未来へ進むチカラ**)

【タグライン】 Earth Driven COMPANY



HR Governance Leaders

Earth Driven COMPANY

➤ タグライン「Earth Driven COMPANY」に込めた想い

「ヒト」が輝く社会の“未来設計図”を創造するが、HRガバナンス・リーダーズのコーポレートビジョンです。ヒトが輝く社会を創るためには、この青い地球の美しい環境を維持しながら、豊かで安心して暮らせる社会が必要となります。

その社会の公器であるクライアント企業の皆様が、社会課題の解決と経済の発展を両立するサステナブルな社会を創っていくため、私たちは取締役会のセクレタリー機能を担うOne Teamを組成し、執行・監督両面から地球視点でのガバナンス改革を支援していきます。

2015年にSDGs(9月)、パリ協定(12月)が相次いで採択され、日本でも2020年10月にカーボンニュートラル宣言が発表されるなど、サステナブルな社会の創造に向けた取組みが本格化する中、いわば必然的にHRGLは誕生しました。

私たちの造語である「Earth Driven COMPANY」には、地球規模のニーズに突き動かされて生まれたHRGLが、社会のひとつの仲間(COMPANY)としてサステナブルな地球・社会を共創していく、という決意が込められています。